企画展示

令和7年度（2025年度）

「大学生による館蔵品展×さわる月間」



博物館実習生による展示は、博学連携の成果として、大学生の独自の視点で作られた展示を積極的に公開するとともに、館蔵資料を公開する機会である。令和7年度（2025年）は、博物館実習生による展示とさわる月間を同時開催とした。学芸員の各分野である考古、近世史、近現代史の3班に大学生が分かれ、班ごとに学芸員の指導のもと、実際に実習生が館蔵資料を用いて展示計画から陳列作業までの展示実習を行った。また、大学生ならではの視点や感性による「さわる展示」を企画し、展示物に触れ学ぶことの意義を共に考える機会とした。

アンケートでは、「子どもが見たことないもの、色々さわれて楽しそうだった。」「普通の博物館はさわることができないけど、ここの博物館はいろいろな楽器をさわれたので良かった。」などの記述があり、おおむね好評であった。さわる展示は子供に限らず好評であり、今後も内容を工夫していきたい。

会期	9月13日～10月5日　（19日間）
会場	特別展示室
出品点数	100点
観覧者数	562人
広報・取材	市報、博物館HP、吹田市Facebook、吹田市LINE、点字毎日


展示風景


実習生による展示解説


講演会

関連イベント

実施日	イベント名	講師等	参加人数
9月13日	ボランティアによる展示案内	点訳の会「円」ほか視覚障がい者支援団体	78人
9月14日	実習生による展示解説	学芸員実習生	44人
9月20日	ボランティアによる展示案内	点訳の会「円」ほか視覚障がい者支援団体	10人
9月21日	実習生による展示解説	学芸員実習生	87人
9月21日	講演会「「ふしぎな石ころ」で「点字＝触覚」の国を旅しよう－－ルイ・ブライユは「いのち輝く未来社会」のデザイナーだった！」	広瀬浩二郎氏（国立民族学博物館教授）、中山誠基氏（株式会社バスキュールテクニカルプロデューサー）、香田夏雄氏（株式会社ミライセンス代表取締役）	49人
9月22日	わくわく体験（靴下端材から作るSDGsコースター、点字体験、点字つきさわる絵本、視覚障がい者による触読朗読）	点訳の会「円」ほか視覚障がい者支援団体	115人
9月27日	ボランティアによる展示案内	点訳の会「円」ほか視覚障がい者支援団体	38人
9月28日	実習生による展示解説	学芸員実習生	38人
10月4日	ボランティアによる展示案内	点訳の会「円」ほか視覚障がい者支援団体	24人
10月5日	実習生による展示解説	学芸員実習生	52人
		合計	535人

担当　池田